



简 讯

- ◇10月25日（星期一）在接待室召开了「贯彻第4次指导委员会精神，办好“中心”研讨会」。会上“中心”有关人员及专家就课程设置、学术研究、青年教师的培养以及图书资料馆的建设等方面所面临的问题作了介绍，并就解决这些问题的方法出了提案。与会的“中心”全体教职员、专家以及日本国际驻京办事处代表就以发言展开了热烈的讨论。
- ◇招生宣传：10月末至11月初，“中心”按惯例进行了招生宣传。本次招生工作分方路线、西北路线和北京地区三个方面进行。竹田晃主任教授和陈海良副主任到州、泉州、厦门、广州等地的主要院校向日语专业学生及日语教师介绍了“中心”招生工作的有关情况。竹田晃先生还在福建师范大学等处作了题为「日本平安时知识阶层接受中国文学的一面——主要就〈讽谕〉问题」的讲演。“中心”教职李宝顺和洪庆华到山西、陕西两省，除了走访了当地的省教育委员会、省研究生办公室外，访问了所有设有日语专业的高校和部分有日语教师的院校，通过座谈会、个别交谈等形式，着重调查了日语专业毕业班、日语师资、“中心”毕业生情况。在北京地区，李书成代理主任分别在“中心”、北京外语师范学院、北京师范大学、北京大学、北京外国语学院举办了招生说明会。
- ◇公开讲座：10月14日、28日、11月4日、11日（各周四）“中心”举行了第5·8·9次公开讲座。讲演者及讲演题目如下：赤城国臣 近代经济学的尖端领导：法与经济学、中村义 孙文·黄兴与日本人的交流、李德 明治以后的日本育、国冈彬一 从漱石文学到志贺、芥川文学的发展。第6次因讲演者方面的原没有进行。另外，孙平化先生于10月20日（周三）下午来“中心”作了题为「前日本政局的几个问题」的专题讲演。
- ◇11月13日（周六）“中心”组织专家到香山观赏红叶。绝大多数专家和家属参加这次秋游活动。
- ◇“中心”将于94年5月18日（周三）～21日（周六）举行第6届日本学中日学术讨会。会议通知将于11月底发放，届时欢迎广大毕业生踊跃报名。

研究室活動

〔言語研究室〕12月10日（金）14:00～ 渡辺秀夫・掲侠両氏がそれぞれ「『平安朝の和歌と漢詩文』―― 紀貫之の和歌表現をめぐって」、「『日漢詞典』の編集について」と題して講演を行う予定。

〔社会研究室〕10月10日（金）李書成氏が「日本人の保守性と革新精神」と題して研究成果を発表。11月19日（金）周維宏氏が「国交樹立前の中日貿易関係」の題で、研究発表を行う予定。

“孫平化文庫” 設立される

10月初め、中日友好協会会長孫平化氏は、“センター”を見学に訪れ、図書資料を称賛するとともに、1992年、日本政府の勲一等瑞宝章叙勲を祝して、茨城県民から贈呈された百万円を北京日本学研究中心に寄付することを決意された。“センター”では、この資金を図書購入費に当て、“孫平化文庫”を設立して、“センター”並びに全国の日本学研究者の勉学・研究に資することにした。 (李書成)

自己紹介

○赤城国臣：旅行以外に住んだ家は、20ヶ所（住んだ都市の数：9ヶ所）。酒を止めてから、チェスを始める。読書傾向：推理小説・歴史小説・日本論ものを中心に乱読。

○国岡彬一：日本近代文学が専攻です。以前は昭和期に関心がありましたが、今は明治・大正期にも興味があります。趣味は音楽鑑賞です。中国には強い関心を持ち、訪中は二度目です。

○熊谷圭知：専門は人文地理学。パプアニューギニアという国を対象に、町の掘っ立て小屋や奥地の村などに住みこみながら調査を続けています。趣味は食べることで、北京の食べ物安くておいしいのに感激しています。

○迫野虔徳：中国ははじめてです。中国棋院で囲碁をうてるとは思っていませんでした。一敗一持碁という成績でしたが、たいへん感激しています。この次、同じ人と打てたら、今度は勝てそうな気がします。

○傳馬義澄：国学院大学大学院博士課程単位修了。現在、国学院大学文学部助教授。近代文学専攻。主要論文「『父』の位相をめぐって」、「日本象徴主義の展開」、「梶井基次郎論序説」他。

○山本武利：日本でも大学院で中国各地から来たかなり年齢層の広い研究者の卵を指導してきました。今回、さらに若い人たちと講義、ゼミなどで交流できるのをうれしく思っています。

通 信

〈第 33 号〉

責任編集：鈴木義昭 張龍妹 郵便番号：100081 Tel：8424893 1993.11.18

ニュース

◇10月25日（月）センター接待室にて「第四次指導委員会の精神を徹底し、“センター”の良好な運営をはかるシンポジウム」が開かれた。席上、センター関係者・専門家から、カリキュラム設置、学術研究、青年教師養成及び図書資料館の建設等、本“センター”が当面する問題について、報告、紹介が行われ、問題解決の方法についての提案が行われた。その後で、本会に出席した“センター”全教職員、専門家並びに国際交流基金北京駐在所代表は、以上の基調発言を巡って、熱心な討論を繰り広げた。

◇学生募集の宣伝事業：10月末から11月始めにわたり、恒例の学生募集の宣伝事業が行われた。今回の募集事業は、南方方面、西北方面、北京地区の三方面に分けて行われた。竹田晃主任教授及び陳海良副主任は、福州・泉州・厦門・広州等の主な大学に行き、日本語専攻の学生、日本語教師に“センター”の学生募集状況について紹介を行った。竹田氏は、福州師範大学等で「平安時代における漢文学受容の一側面——『諷諭』問題について」と題する講演を行った。“センター”教職員の李宝順氏、洪慶華氏は、山西、陝西両省に行き、当該地区の省教育委員会、省研究生募集事務室を訪問した他、日本語専攻の置かれた大学、日本語教師の在職している大学を訪ね、座談会、個別の懇談等を通じて、日本語専攻の卒業クラス、日本語教師の実情、“センター”卒業生の状況を重点的に調査した。北京地区では、李書成主任代理が北京日本学研究所センター、北京外語師範学院、北京師範大学、北京大学、北京外国語学院の各大学で学生募集説明会を開いた。

◇公開講座：第五回（10月14日）、第七回（同28日）、第八回（11月4日）、第九回（同11日、いずれも木曜日）公開講座が開催された。講演者と演題は、以下の通り。赤城国臣氏「近代経済学のフロンティア——法と経済学」、中村義氏「孫文・黄興と日本人との交流」、李徳氏「明治以後の日本の教育」、国岡彬一氏「漱石の文学から志賀、芥川文学への展開」。第六回は講演者の都合により、休会。その他、10月20日（水）午後、孫平化氏が来校され、「当面の日本の政局に関する二、三の問題」と題する専門講演を行った。

◇11月13日（土）“センター”主催の「香山紅葉狩り」が行われ、多数の専門家とその家族が参加した。

◇94年5月18日（水）～21日（土）第六回「日本学中日学術シンポジウム」が举行される。開催通知は、11月末までに発送の予定。広範な卒業生の参加を希望する。

□新任专家 自我介绍(其二)□

☆赤城 国臣老师：除旅行外，迄今住过的房子有20所（住过的城市数：9座）。戒酒以后，喜欢上了国际象棋。读书范围：以推理小说·历史小说·日本论为中心，不分主次。

☆国冈 彬一教师：专攻日本近代文学。以前对昭和时期的文学比较关心，现在对明治、大正时期的文学也产生了兴趣。我的爱好是音乐欣赏。对中国也很感兴趣，这是我第二次访华。

☆熊谷 圭知老师：专业是人文地理学。以巴布亚新几内亚为对象国，住在那儿城市的简易房里或内地的村庄里，进行着调查工作。爱好饮食。北京又便宜又好吃的食物令我欣喜。

☆迫野 虔德老师：我是第一次来中国。没想到能在中国棋院里下围棋。虽然成绩是一负一平，但我还是非常高兴。下次要是还能跟同一人下的话，我想可能能赢他。

☆传马 义澄老师：国学院大学研究生院博士课程结业。现任国学院大学文学部副教授。专攻近代日本文学。主要论文有「关于“父”的形象」、「日本象征主义的发展」、「梶井基次郎论序说」等。

☆山本 武利老师：在日本，也在研究生院指导来自中国各地的年龄跨度很大的未来的研究者。这次为能有机会通过授课、演习与年轻人进行交流而感到高兴。

☆ 研究室活动 ☆

【语言研究室】11月10日（周五）下午2:00在三层接待室举行第3次研究会。发表者和发表题目如下：渡边秀夫先生 「平安朝的和歌与汉文学——关于纪贯之的和歌表现方法」；揭狭先生 「关于《日汉词海》的编辑工作」

【社会研究室】10月10日（周五）李书成先生作了题为「日本人的保守性及革新精」的研究成果发表。11月19日（周五）周维宏先生将作「建交前的中日贸易关系」的研究发表。

“孙平化文库”设立

今年10月初，中日友好协会会长孙平化先生来“中心”参观时，十分赞赏我“中心”的图书资料，当时决定将1992年茨城县人民为祝贺他获得日本政府瑞宝一级勋章时捐献的100万日元转送北京日本学研究中心。经研究，“中心”决定将这批资金用于购买图书，设立“孙平化文库”，为本“中心”以及全国日本学研究同行们的学习和研究服务。

（李书成）